

大阪府 枚方市
訪問介護事業所における
新型コロナウイルス感染症における実態調査報告書
(2021年3月)

枚方市訪問介護事業者会 実行委員

新型コロナウイルス感染症における実態調査実施概要

●調査期間:2021年3月1日～2021年3月21日

●調査目的

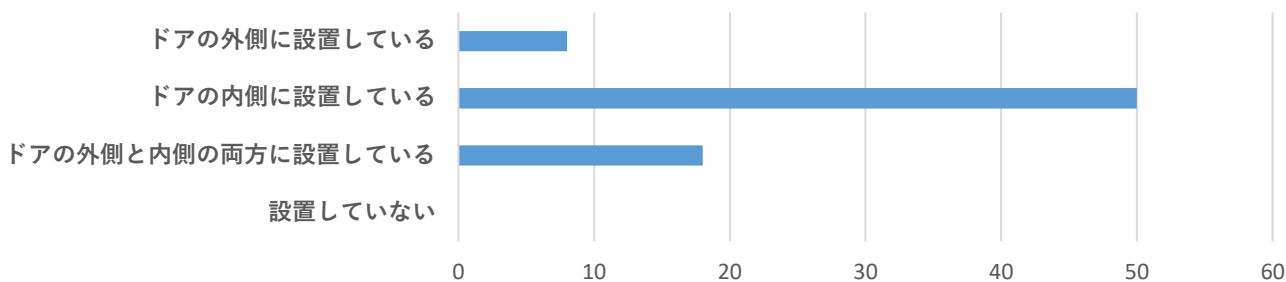
1. 事務所内における感染症対策の実態把握
2. ヘルパーの感染症対策の実態把握
3. 法人、事業所における実態把握
4. 行政、枚方市訪問介護事業者会への意見把握

●調査対象:枚方市内の訪問介護事業所(184事業所)

●回答数:76事業所(回答率41.3%)

1. 事務所内での感染対策について

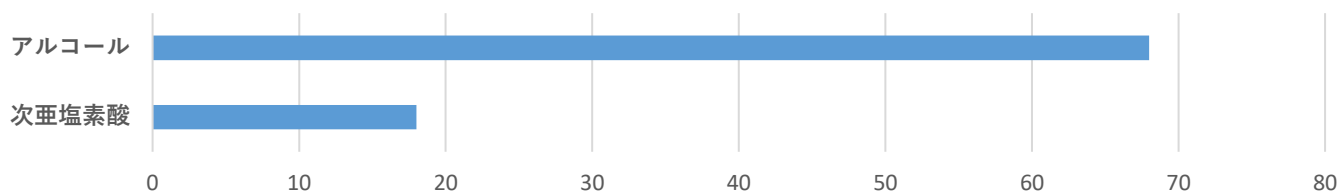
質問1. 消毒液を設置していますか。 (76 件の回答)



ドアの外側に設置している	8
ドアの内側に設置している	50
ドアの外側と内側の両方に設置している	18
設置していない	0

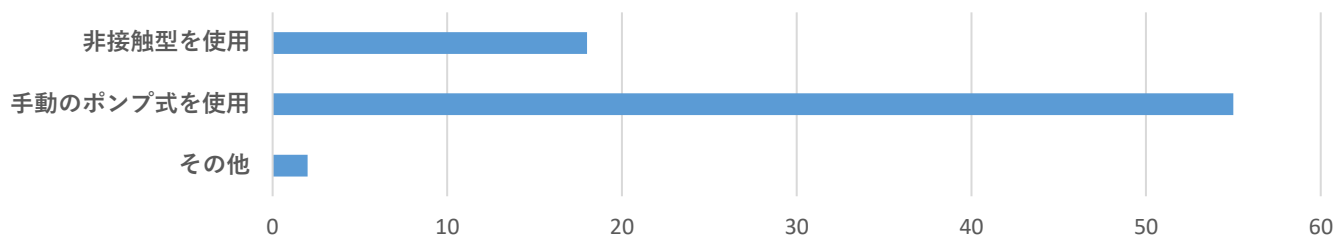
(質問1.で「設置している」と回答された方に質問です。)

質問2. どのような消毒液ですか。 (76 件の回答)



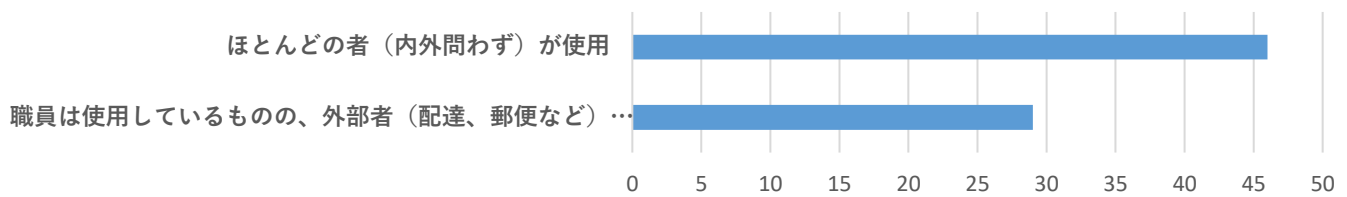
アルコール	68
次亜塩素酸	18

質問3. どのような物を設置していますか。 (75 件の回答)



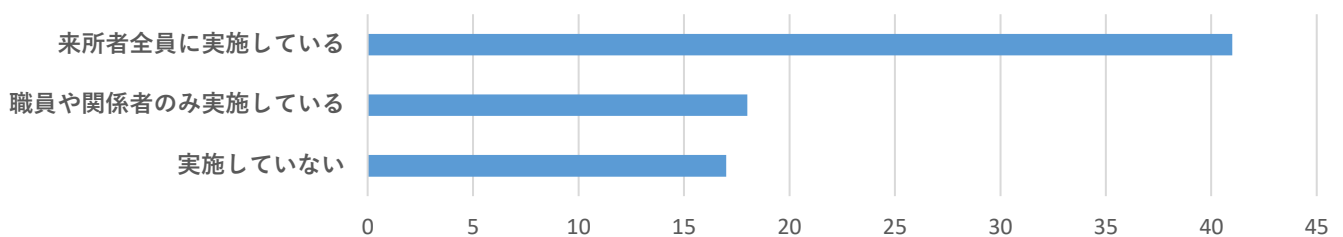
非接触型を使用	18
手動のポンプ式を使用	55
その他(詳細は、以下の通り)	2
(どちらも使用)	1
(ドアの外側には「手動ポンプ型」、内側には「非接触型」を設置)	1

質問4.使用頻度はどのくらいですか。 (75 件の回答)



ほとんどの者(内外問わず)が使用	46
職員は使用しているものの、外部者(配達、郵便など)は使用していないことが多い	29

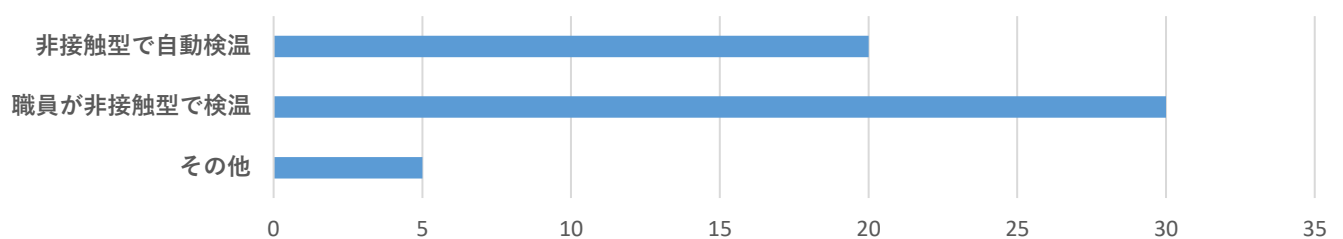
質問5.入館時の体温計測はしていますか。 (76 件の回答)



来所者全員に実施している	41
職員や関係者のみ実施している	18
実施していない	17

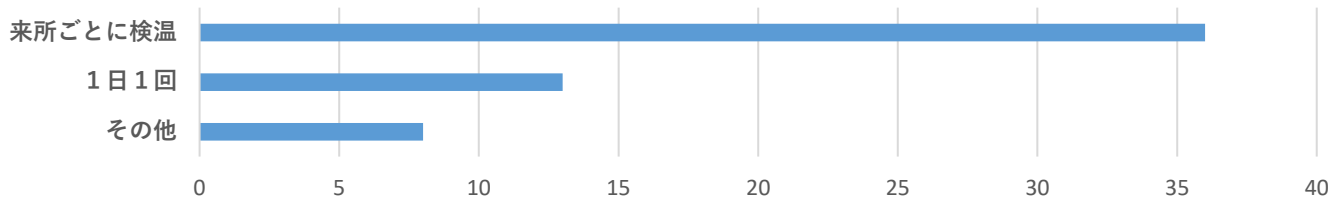
(質問5.で「実施している」と回答された方に質問です。)

質問6.どのような形で実施していますか。 (55 件の回答)



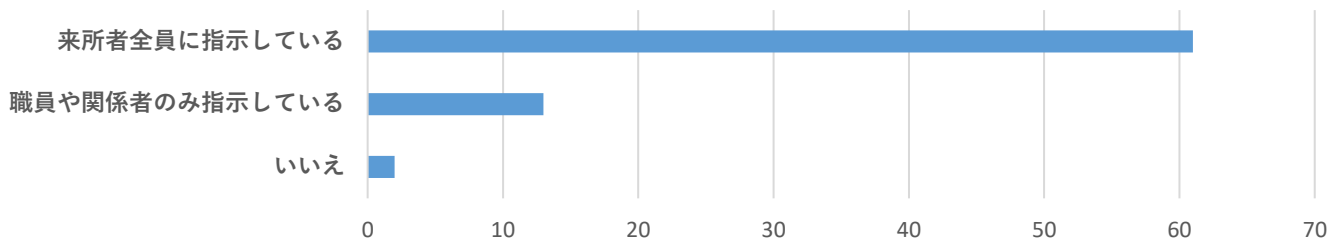
非接触型で自動検温	20
職員が非接触型で検温	30
その他(詳細は、以下の通り)	5
(各自出社前に検温)	1
(事務所より配布の体温計を各自使用)	1
(一般的な体温計で、使用后アルコール消毒)	1
(個々に測定)	1
(各自で検温の上報告)	1

質問7.検温頻度はどのくらいですか。 (57件の回答)



来所ごとに検温	36
1日1回	13
その他(詳細は、以下の通り)	8
(出社時と退社時の2回)	3
(1日2回)	3
(1日2回以上)	1
(サービス前後)	1

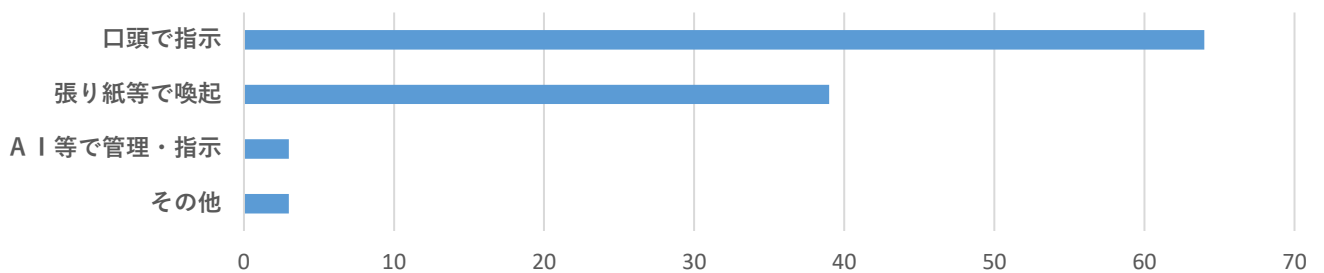
質問8.入館時のマスクの着用の指示はしていますか。 (76件の回答)



来所者全員に指示している	61
職員や関係者のみ指示している	13
いいえ	2

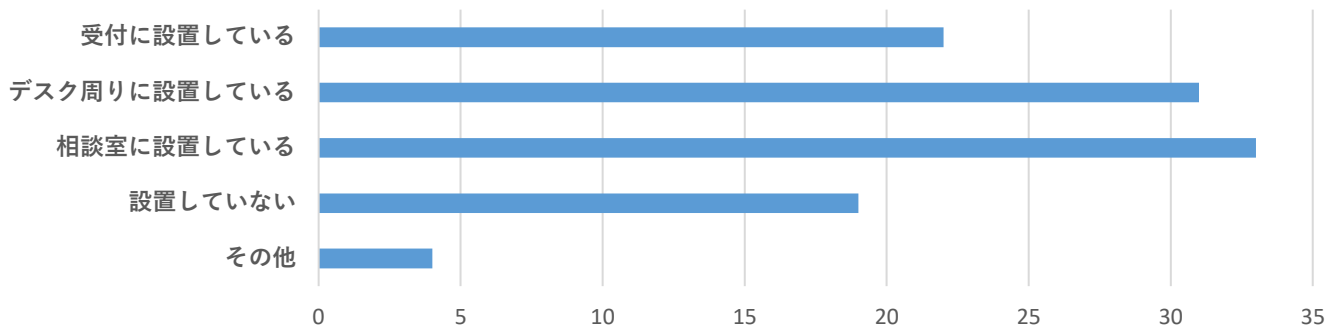
(質問8.で「指示している」と回答された方に質問です。)

質問9.どのような形で指示していますか。 (72件の回答)



口頭で指示	64
張り紙等で喚起	39
AI等で管理・指示	3
その他(詳細は、以下の通り)	3
(文章にして配布)	1
(指示無しでも実施出来ている)	1
(メール等)	1

質問10.パーテーション等の設置について。(76件の回答)



受付に設置している。	22
デスク周りに設置している。	31
相談室に設置している。	33
設置していない。	19
その他(詳細は、以下の通り)	4
(対面で座る事があるところには設置している)	1
(食堂)	1
(事務所内、休憩室、食堂に設置)	1
(フェイスシールド)	1

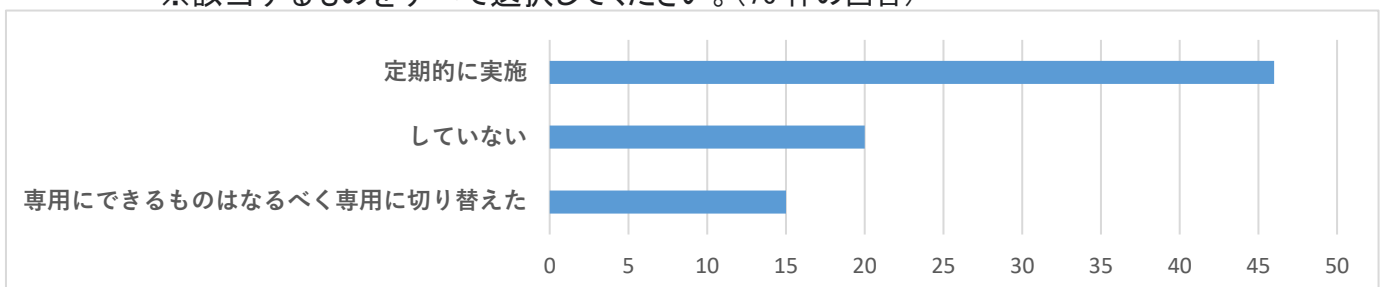
(質問10.で「設置していない」と回答された方に質問です。)

質問11. 設置していない事情等があればお聞かせください。(11件の回答)

外出している事が多く事務所内に2人以上いる時間が少ないため。設置予定あり。
十分な距離をとり(別室)作業を行っている。
引っ越し。
事務所内は、マスク、換気を徹底 相談室は換気や消毒を徹底する。
未購入。必要が無いと思われる。
それぞれの机は壁面に向いている、対面の場合はマスクを着用するため。
ソーシャルディスタンスが取れている。
事務所の常勤が多くて2名の為、距離を保っている。
設置検討中。

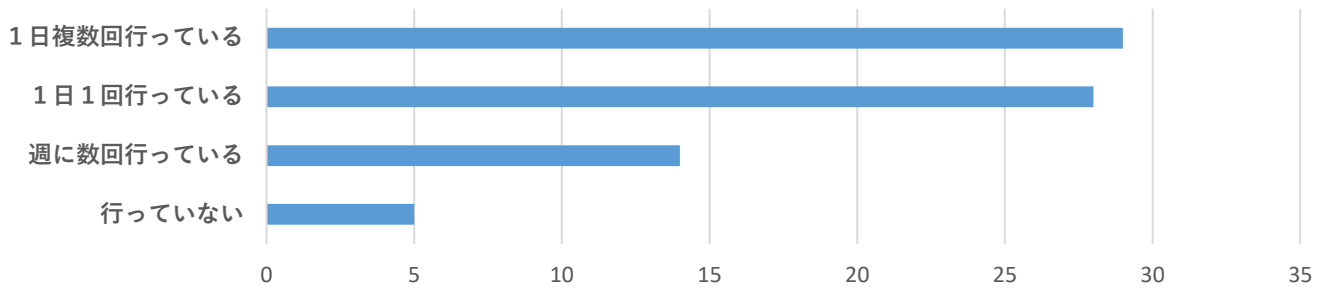
質問12. 事務所内の共有物(ペン、固定電話など)の消毒はされていますか。

※該当するものをすべて選択してください。(76件の回答)



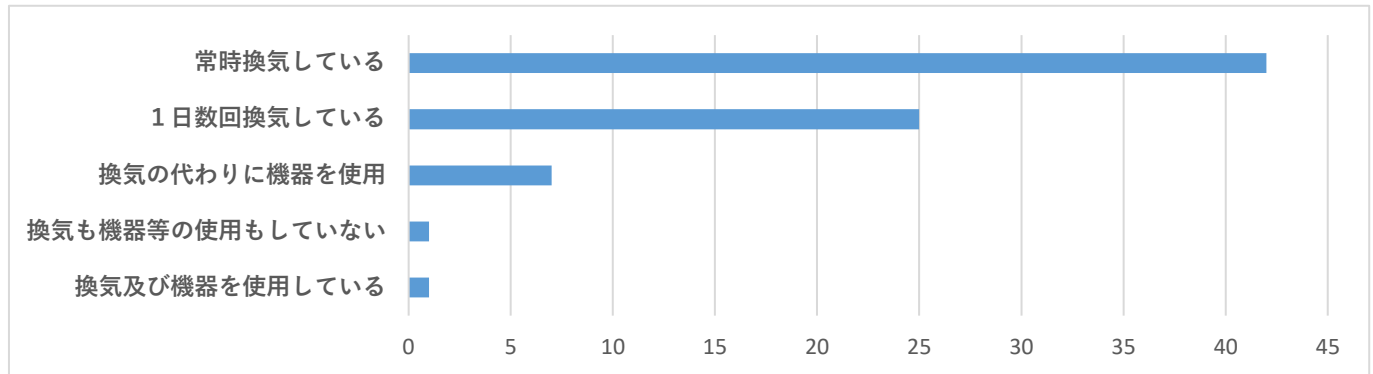
定期的実施	46
していない	20
専用ができるものはなるべく専用に切り替えた	15

質問13.ドアノブや手すりの消毒について。 (76 件の回答)



1日複数回行っている。	29
1日1回行っている。	28
週に数回行っている。	14
行っていない。	5

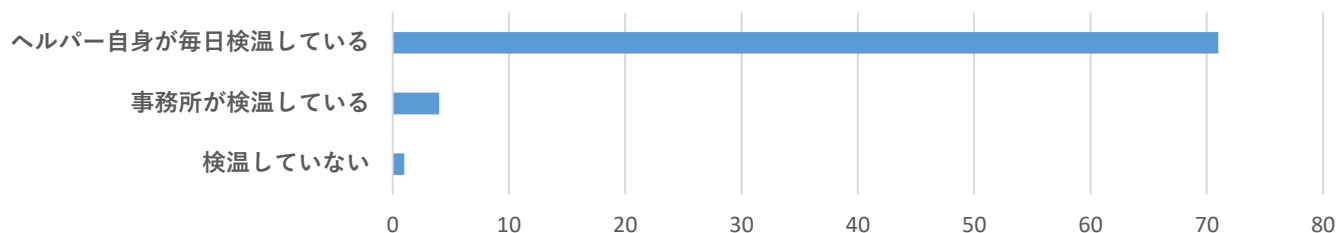
質問14. 換気について。 (76 件の回答)



常時換気している。	42
1日数回換気している。	25
換気の代わりに機器を使用。	7
換気も機器等の使用もしていない。	1
換気及び機器を使用している。	1

2. ヘルパーの感染対策について

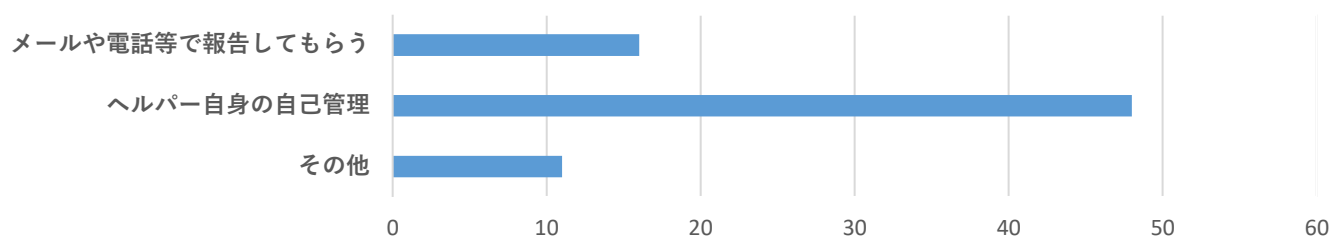
質問15.検温について。 (76 件の回答)



ヘルパー自身が毎日検温している。	71
事務所が検温している。	4
検温していない。	1

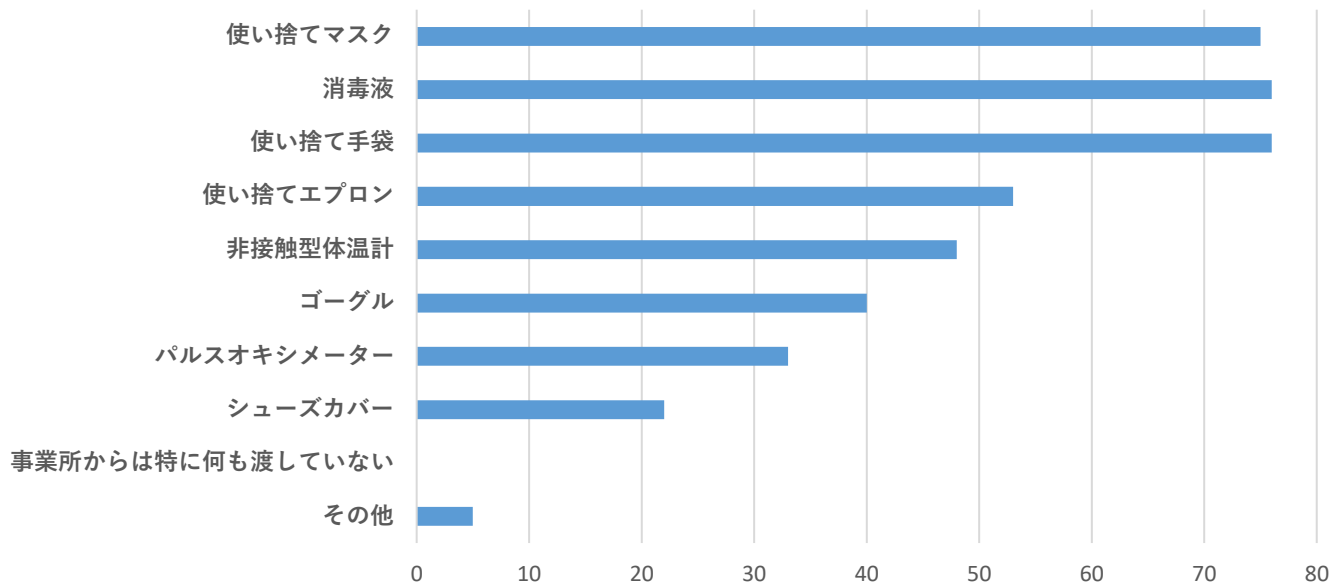
(質問15.で「検温している」と回答された方に質問です。)

質問16.どのような形で管理していますか。 (75 件の回答)



メールや電話等で報告してもらう。	16
ヘルパー自身の自己管理。	48
その他(詳細は、以下の通り)	11
(介護記録(タブレット)に記入)	1
(体調管理票を利用している)	4
(サービス記録に記入)	1
(事務所内の表に毎日記入)	1
(1ヶ月分の検温表を配布して各自計測。翌月回収)	1
(出勤時に検温して記録、問題があればその時点で報告)	3

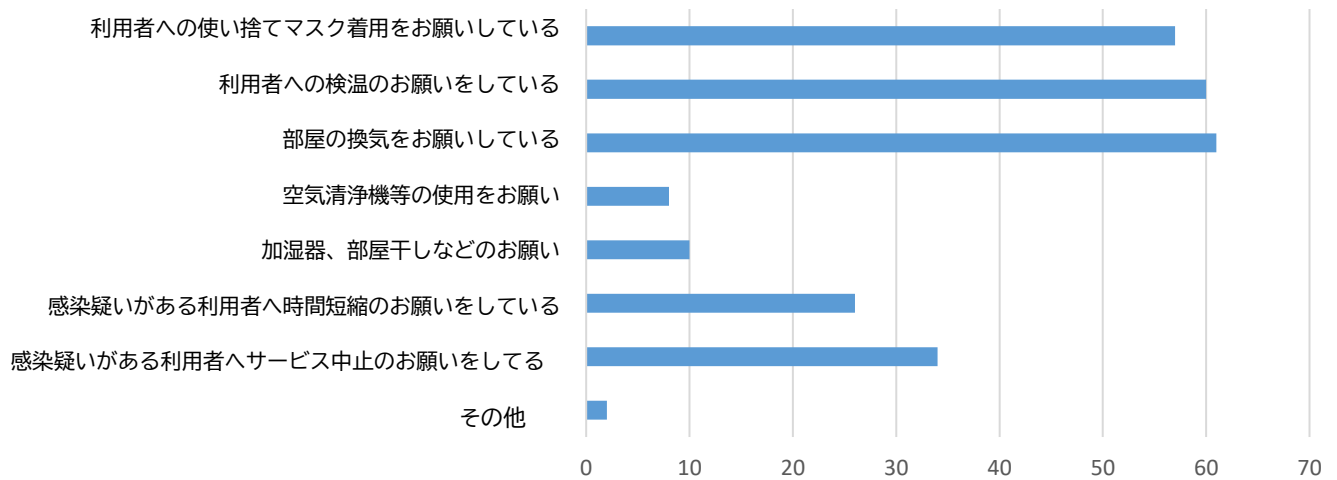
質問17.事務所で準備している感染対策グッズについて
 ※該当するものをすべて選択してください。(76件の回答)



使い捨てマスク	75
消毒液	76
使い捨て手袋	76
使い捨てエプロン	53
非接触型体温計	48
ゴーグル	40
パルスオキシメーター	33
シューズカバー	22
事業所からは特に何も渡していない	0
その他(詳細は、以下の通り)	5
(フェイスシールド)	2
(使い捨てキャップ、フェイスシールド)	1
(防護服・防護キャップ)	1
(キャップ、防護服、フェイスシールド)	1

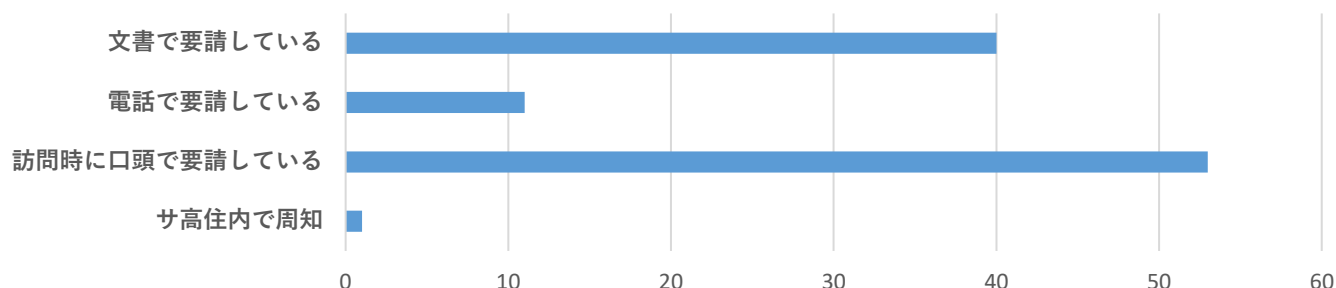
質問18.訪問先(利用者宅)での感染対策について

※該当するものをすべて選択してください。(76件の回答)



利用者への使い捨てマスク着用をお願いしている。	57
利用者への検温のお願いをしている。	60
部屋の換気をお願いしている。	61
空気清浄機等の使用をお願い。	8
加湿器、部屋干しなどのお願い。	10
感染の疑いがある利用者へ時間短縮のお願いをしている。	26
感染の疑いがある利用者へサービス中止のお願いをしている。	34
その他(詳細は、以下の通り)	2
(消毒液の設置・ソーシャルディスタンスをとっての作業)	1
(サ高住である為に、こちらにて管理)	1

質問19.訪問先(利用者宅)での感染対策について、その周知方法をお答えください
 ※該当するものをすべて選択してください。(75件の回答)



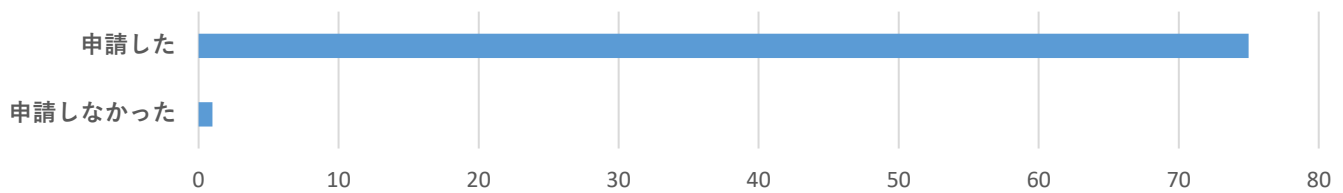
文書で要請している。	40
電話で要請している。	11
訪問時に口頭で要請している。	53
サ高住内で周知。	1

質問20.訪問先(利用者宅)での感染対策について、工夫していることや困っていることがあればお答えください。
 (17件の回答)

何度お伝えしてもマスク着用をしていただけない利用者がある。
マスクの着用を嫌がられることがある。
あくまでもお願いレベルのため、感染対策して下さるかは人によりけり。そのため状況に応じて、感染対策グッズの使い分けをすることを事前に伝えています。
利用者の体調管理票を作っている。
※手洗いがしにくい利用者には、ホットタオルで拭いていただき消毒液を使用している。 ※認知がある方や障がい者の方には、マスクの着用を勧めるも理解していただきにくい。
寒いから換気を拒まれる方がいらっしゃる。
ガイドヘルプなどにおいて公共交通機関での移動はお断りしている。エプロンやフェイスマスクを着用。
認知症の方のマスク着用が徹底することができていないため、職員は必ずするようにしている。
マスクをして利用者とお話すると、聞き取りにくいとおっしゃる。マスク自体を嫌がる方も多い。
利用者さんの中にはマスクをされていない方がいます。
発熱などの状況を後で伝えられることがある。
マスク着用のもと出来るだけ会話しないようにしている。
「寒い」との理由で換気を断られることがある。 「自分の家なのでマスクはしたくない」と着用を断れることがある。
利用者さんが自宅内でマスクをつけるのを拒否。検温をお願いしてもして頂けない。
出かけてないからマスク着用への拒否

3. 法人、事業所について

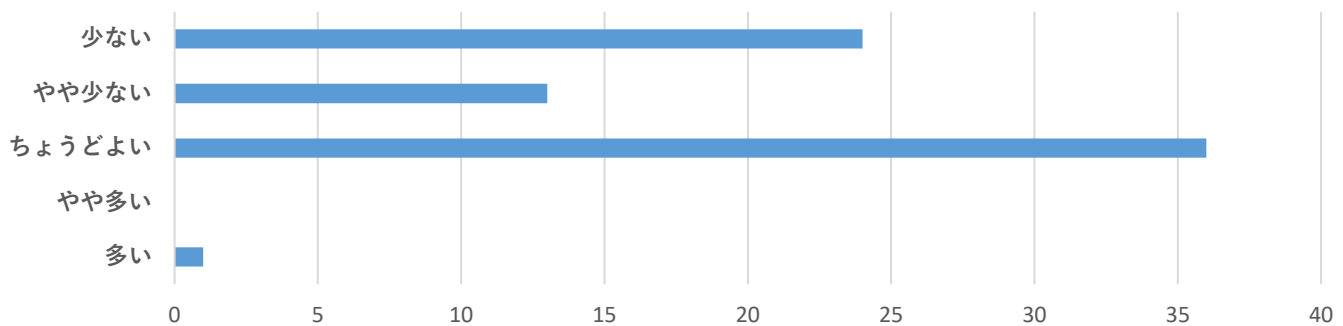
質問21.事業所・施設等に勤務する職員に対する慰労金の支給について。(76件の回答)



申請した	75
申請しなかった	1

質問22.金額(5万円、または20万円)は妥当ですか (74件の回答)

※実際に新型コロナウイルス感染症患者または濃厚接触者にサービスを一度でも提供した職員:一人20万円
それ以外の職員:一人5万円

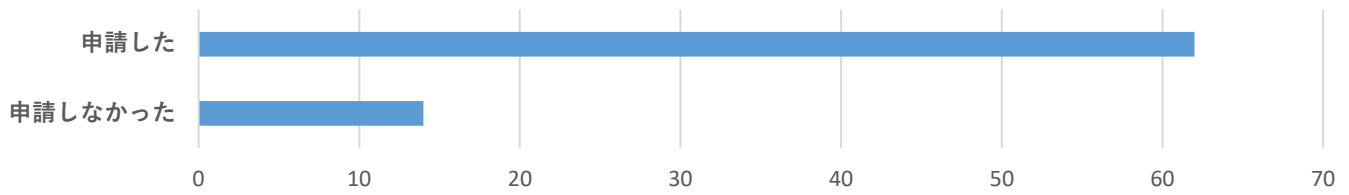


少ない	24
やや少ない	13
ちょうどよい	36
やや多い	0
多い	1

質問23.慰労金全般(申請方法、入金時期など)に関するご意見があればお聞かせください。
(10件の回答)

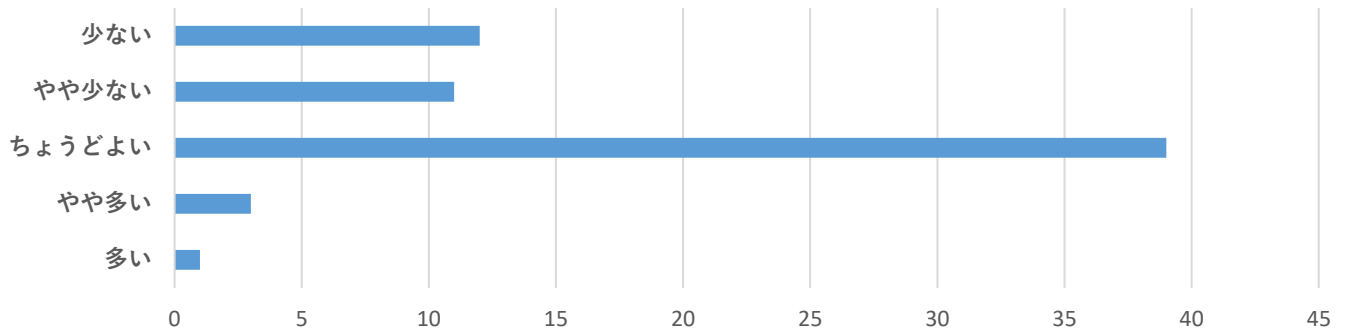
勤務日数で慰労金の支給額を決めてもよいのではと思います。
煩雑で法人でやらなければならない。
事務所にも感染予防や検査などにかかった費用を助成してほしい。
5万円が妥当なのか否かわかりません。
金額よりも回数に疑問がある。特に、申請が終わった後の方が感染が拡大しており、何か月に1回の頻度で感染状況を見て支給して欲しい。
事業所が取りまとめするにも、職員に説明、周知、委任状を集めて、申請の順番を守らない事業所があり、掛け持ちしている職員の分を本人に同意もなく、先方で勝手に申請をされ困った。(障がい福祉サービス事業所)退職者に追いかけて説明、周知、委任状集めには骨が折れた。個人支給にすべきではないか。
手続きの加減で致し方ない部分もあるが、入金時期がバラバラだった事。
職種の性質上休めないうえ介護者も高齢であるというリスクを考えれば、慰労金の金額は少ない。
全国の事業所が整うまで時間を要しすぎた。
申請書類に不備があったと再報告と手間取った。様式が、わかりにくかったと感じた。

質問24.新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(介護分)補助金について。(76 件の回答)



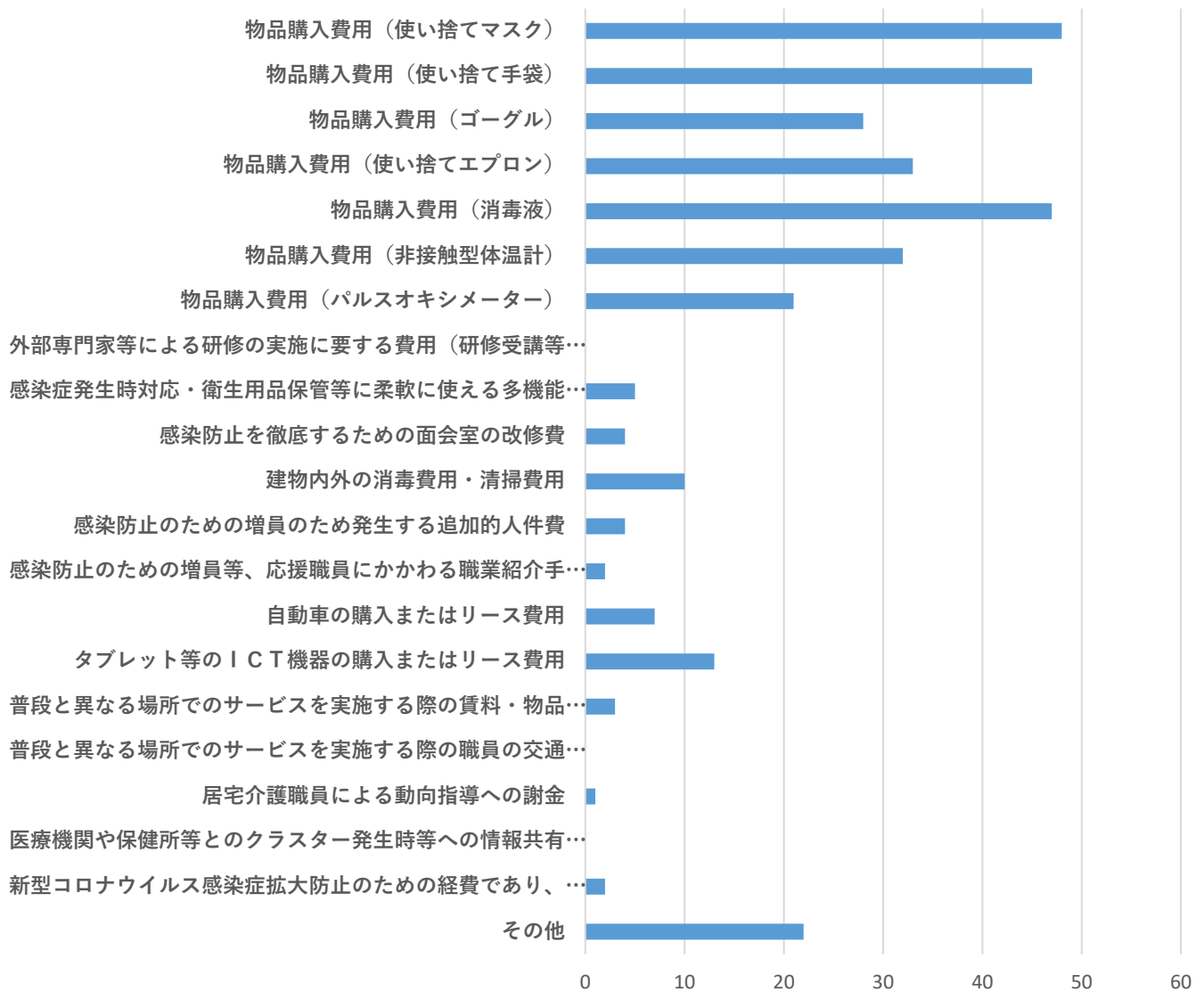
申請した	62
申請しなかった	14

質問25.金額(53.4万円)は妥当ですか。(66 件の回答)



少ない	12
やや少ない	11
ちょうどよい	39
やや多い	3
多い	1

質問26.何に使用しましたか ※該当するものをすべて選択してください。(59件の回答)



物品購入費用(使い捨てマスク)	48
物品購入費用(使い捨て手袋)	45
物品購入費用(ゴーグル)	28
物品購入費用(使い捨てエプロン)	33
物品購入費用(消毒液)	47
物品購入費用(非接触型体温計)	32
物品購入費用(パルスオキシメーター)	21
外部専門家等による研修の実施に要する費用(研修受講等に要する)旅費、宿泊費等	0
感染症発生時対応・衛生用品保管等に柔軟に使える多機能型簡易居室の設置に要する費用	5
感染防止を徹底するための面会室の改修費	4
建物内外の消毒費用・清掃費用	10
感染防止のための増員のため発生する追加的人件費	4
感染防止のための増員等、応援職員にかかわる職業紹介手数料	2
自動車の購入またはリース費用	7
タブレット等のICT機器の購入またはリース費用	13
普段と異なる場所でのサービスを実施する際の賃料・物品の使用料	3
普段と異なる場所でのサービスを実施する際の職員の交通費、利用者の送迎にかかわる…	0
居宅介護職員による動向指導への謝金	1
医療機関や保健所等とのクラスター発生時等への情報共有のための通信運搬費	0
新型コロナウイルス感染症対策拡大防止のための経費であり、通常の介護サービス等の提供時では想定されないもので、国実施要綱の目的に反しないと府が認める費用。	2
その他(詳細は、以下の通り)	22
(空気清浄機)	3
(電話機の増設・感染対策用タオルハンカチ)	1
(環境整備)	1
(オゾン脱臭器)	1
(AIRLIA等、事務所内に空気清浄機設置費用)	1
(まだ支給されていない)	1
(備品購入(パーティション、空気清浄機など))	1
(物品購入)	1
(普段と異なる場所への訪問のための電動自転車の購入)	1
(未記入)	11

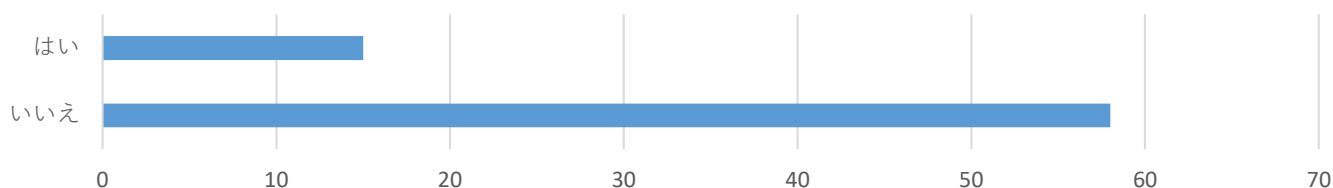
質問27.上記で選択された中でより具体的な品名や数量等をお聞かせください。(18件の回答)

タブレット5台、電話機25台、ハンカチタオル145枚(訪問時交換用)、消毒系多数 他。
オンライン会議、研修のためのパソコン、ヘッドホン、マイクなどの周辺機器。
電動自転車一台、布製椅子から消毒液で拭ける椅子に買い替え10脚。
マスクを常勤非常勤全員に箱で配布を数度。(購入は支店が管理)。
空気清浄器、加湿器、換気扇。
オゾン脱臭器。
空気清浄機(1台・2台)。
マスク・ゴム手袋をヘルパー全員に配布。
消耗品、衛生用品。
使い捨ての物は、ヘルパーの人数分で令和2年度に使用する見込み数だけ購入(次年度も同様の補助金があると想定をして無駄な買い置きは極力控えた)。
サージカルマスク、ガウン等。
ガウン 1000枚。
山本光学 ゴーグルメガネ 人数分。

質問28.補助金全般(申請方法、該当項目、入金時期など)に関するご意見があればお聞かせください。(8件の回答)

一回限りの助成金申込を、「感染に係る助成金」と「タブレットなどの助成金」等を分けて申請が出来れば、もう少し考える事が出来た。
補助金の申請に関して、詳細に指導してもらえる環境にないと、申請が難しいと感じた。 忙しい業務の合間に、こういう補助金制度があるということを把握するのも難しく、情報を流していただけると助かる。
知らなかった。
ICT機器は、障害福祉分野のように別枠で支給してほしい。
使い捨ての備品等を中心に購入したので、比較的スムーズ申請は行えたものの、参考例が大まかなため、IC機器の購入などこまめが対象になるか分かりづらく購入を控えた。 次年度以降も補助金の継続を期待する。
マスクや手袋が高騰していたためリサイクルして使っていましたが、補助金のおかげで使い捨てができるようになり備蓄もできるようになった。

質問29.事業所内で職員に感染者又は濃厚接触者が出ましたか (73件の回答)

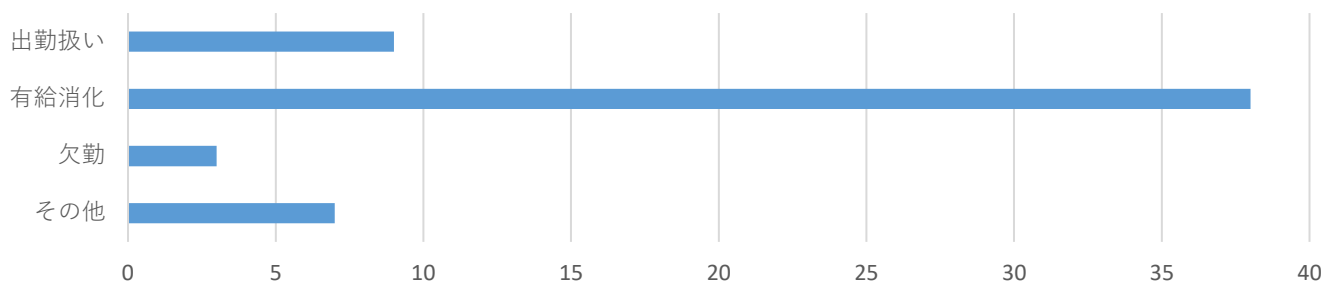


はい	15
いいえ	58

質問30.具体的にとられた対策についてお聞かせください。 (18件の回答)

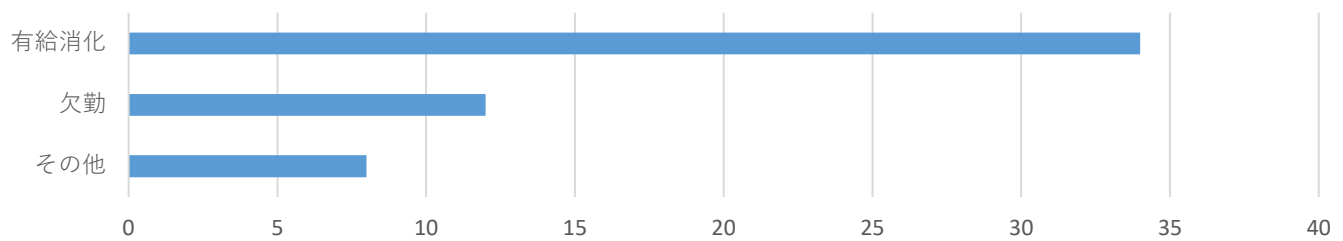
受診した職員は陰性であったが、2週間の休暇を取ってもらった。
感染予防グッズの活用、手洗いうがいなど予防の徹底。
最小限の人員で事務処理など行い、職員全員のPCR検査を実施。
マスク、消毒の徹底。
検査受け、訪問中止した。
食事の際の距離、行動記録、検温、入室時の消毒、マスクの徹底、入浴介助時もマスク装着。
職員の家族が陽性、PCR検査と2週間の自宅待機。
マスクの着用、換気、手洗い、うがい、消毒、検温の徹底を行った。
事務所職員の時差出勤にて三密回避。
利用者1名がデイで感染、ヘルパー3名接触うち1名が濃厚接触者になり、PCR検査では陰性でしたが、保健所の指示のもと2週間自宅待機しました。
早急に、PCR検査を受けてもらった。
感染者と濃厚接触者については出勤を停止してもらい、出勤者は防護服やシューズカバー、キャップなどを付けて業務にあたっていた。
感染委員会を立ち上げ、委員会主導で感染症に対するの対策を検討した。
休職。
濃厚接触を防ぐ為、ゴーグル、マスク、手指消毒の徹底。
報告を受けてからは2週間のおやすみ。つどつど報告を受けて接触のあった職員も検査をうける。
保健所の指示に基づき、対応を行いました。濃厚接触者の自宅待機。陰性だった為、サービスはそのまま継続しています。
入居者全員隔離し、食事は居室配膳。

質問31.感染者又は濃厚接触者となった職員(常勤)が休む場合の待遇はどうしていますか。
(57件の回答)



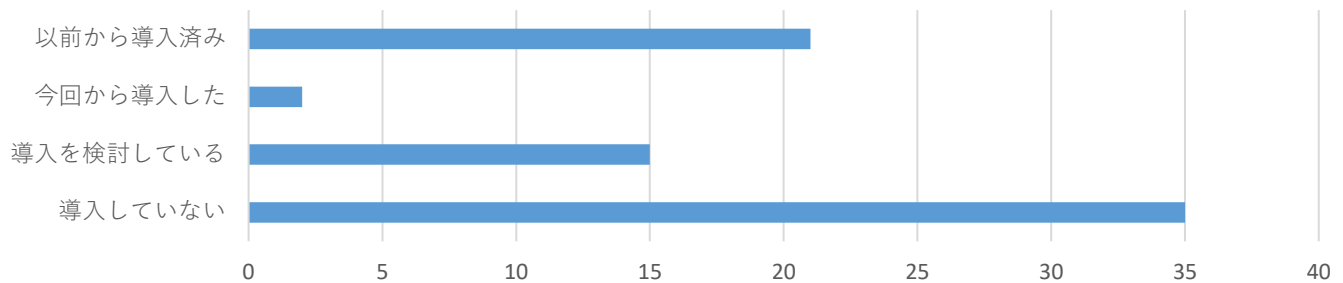
出勤扱い	9
有給消化	38
欠勤	3
その他(詳細は、以下の通り)	7
(特別休暇(有給)扱い。)	1
(特別休暇扱い。)	1
(法人にて傷病手当、対応等。)	2
(取り扱いが無い。自宅待機の予定。)	1
(濃厚接触でなかった。)	1
(他)	1

質問32, 感染者又は濃厚接触者となった職員(非常勤)が休む場合の待遇はどうしていますか。(54件の回答)



有給消化	34
欠勤	12
その他(詳細は、以下の通り)	8
(出勤扱い)	3
(対象者なし)	2
(特別休暇(有給)扱い)	1
(法人にて傷病対応の対応)	1
(検討中)	1

質問33 タブレットやスマホは導入されていますか。(73件の回答)



以前から導入済み	21
今回から導入した	2
導入を検討している	15
導入していない	35

質問34 タブレットやスマホを導入されている場合、一人あたりの経費はどの程度ですか。(3件の回答)

約3000円	1
検討中	1
不明	1

質問35 事業所独自で感染予防に積極的に取り組まれていることについて具体的にお聞かせください。(31件の回答)

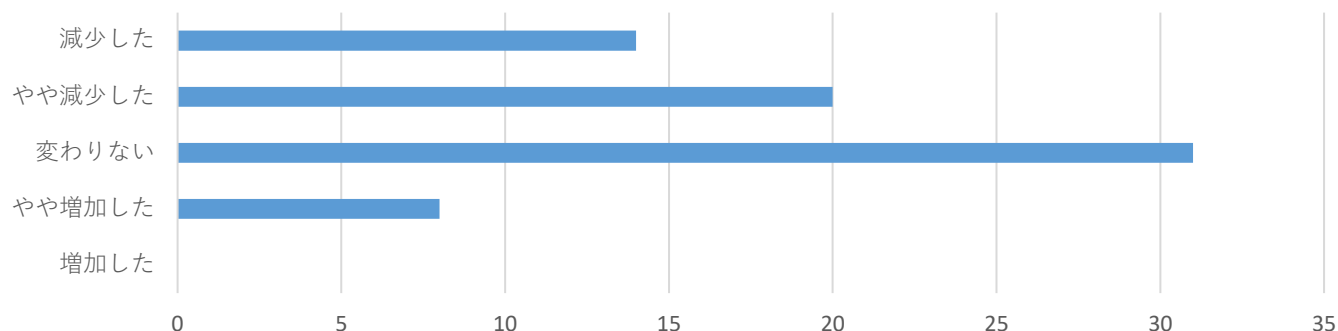
感染予防マニュアルの作成、緊急事態宣言時は時差出勤。
マスク、消毒液の配布。
利用者、ヘルパー、各々に体調管理票でチェックしている。
出勤前の検温「朝・昼」感染予防対策の研修を行った。
感染予防策のテスト方式で作成し、自宅のできるようにした。
感染予防マニュアルの作成。
勤務時間をずらす。居宅は在宅ワーク、直行直帰有り。マニュアル作成。社達を定期的に回す。
ペーパーでの研修(コロナに関する)を2回行った。
昼食中に全居室換気実施。
感染防止マニュアルを作成。
感染マニュアルの作成 緊急事態宣言期間の外出、買い物支援自粛。
時差出勤にて自事務所内の三密を避ける。
感染のリスクが有る行動を出来るだけ取らない。
自宅のできる仕事は自宅でする時間もある。ヘルパーが事務所にくる回数を減らしている。
事務処理等は在宅ワークを実施。
共有部分は日中は常時換気している。
感染予防マニュアル作成、時差出勤、テレワーク。
利用者へのマスク配布、感染症対策の周知文を配布。ヘルパーには、感染予防対策グッズを配布。
委員会を立ち上げ、マニュアル作成を行い職員へ周知した。
事務職員のリモートワーク。
手指消毒、うがい、手洗い、検温、パーテーションで仕切った机、食堂、食事時の会話禁止、マスク装着。
研修の実施、面会の制限。
コロナ疑い・発生時の職員、利用者別の対応マニュアル作成。
オンラインによる会議。
ウィルスを持ち込まないために、入室前・退室後の全身消毒。
定期的の検温、面会の制限。
感染症に関する研修を行った。感染予防グッズを直に装着してもらった。
皆で情報の共有(こんな方法があるとか)を常にメールでやり取りをしています。
テレワーク実施。

質問36.コロナ対策全般に対する困ったこと、苦労したことがあればお聞かせください。

(25 件の回答)

利用者に発熱が出た際の対応方法。どう対応すべきなのかの判断基準が分からないことがあった。
微熱があった場合、サービス提供時にご近所の目がある為、防護服を拒否される方もおられます。
感染予防に関する消耗品、当初は手に入らず、その後、値上がりしすぎて使い捨てにできない金額となってしまった。
微熱や体調不良の利用者へ訪問時の感染対策をどこまでして入室するのか？ 過剰になりすぎると近所の目もあるので困った。
利用者の減少。
当初は、マスクや消毒不足になり高額であっても購入せざるを得なく経費がかかった。 ヘルパーが利用者に感染させてしまわないようにと、気を付ける日々が気が休まらず、神経をすり減らし、心労を訴える声があがった。
ヘルパーが外出のケアを嫌がる。利用者もキャンセルされる。
来社するヘルパーを制御。夏場のマスク着用の暑さ対策。人員不足時のコロナ補充調整。家族が濃厚接触者等の場合はヘルパーに出勤させて良いかどうかの判断に迷う。
面会中止の対応。職員のモチベーション低下。行動の制限によるストレス。
人員の確保 利用者に濃厚接触者が出た場合の訪問。
濃厚接触の可能性があると連絡があった際のサービスの変更、対応等に苦慮した。
保健所の対応が曖昧。
デイサービス利用者に濃厚接触者に該当する方が多く、ケアマネからの連絡が遅いケースが多発した。訪問介護サービスを見合わせる必要がある場合は早急に連絡が欲しい。デイサービスとケアマネの連携不足を感じた。
人数の少ない事業所なので、ヘルパーが2週間休まれるのは代行が大変でした。
持病があるヘルパーが長期で休むため 人材の確保が困難。
発熱されている方へのサービスは、提供するヘルパーはもちろんのこと、それを指示するサービス提供責任者にとっても、精神的に大きな負担となっている。
感染者が出たときに業務にあたる職員の確保に苦労した。
対面での研修が出来ないこと。真夏や入浴介護でのマスク着用。訪問介護には、PCR検査すら受けられないこと。
見えない敵が相手なのでどこまですべきなのか、どこまでしたら安心なのかが見えないので、ただひたすら不安感しかない。
デイ利用者さんがコロナ濃厚接触疑いの時、結果が出るまで訪問介護を継続するかキャンセルさせて頂くか判断に困った。
ご家族への対応、関係先との連携対応。
職員がコロナになった時大変困った。混乱を避けるためにどこまで話をしたらよかったのか迷った。
濃厚接触の利用者が、部屋から出て来て他の利用者と接触がみられた 訪問看護師が、全員濃厚接触者となったので入居者への処置が出来なかった。
感染疑いのある利用者のケア時に防護服を装着してのケアはとても動きにくかった。
今は、使い捨て手袋が少し品薄で、入手しにくいです。

質問37.新型コロナウイルス感染症によって、サービスの減少や増加など、事業収入に影響はありましたか。
(73件の回答)



減少した	14
やや減少した	20
変わらない	31
やや増加した	8
増加した	0

質問38 ヘルパーへの研修は、年間計画通りに実施できましたか。
取り組みの工夫やご苦労等をお聞かせください。(43件の回答)

出来ていない。資料の配布だけ行いました。
計画通りには実施出来なかった。
最初は個別(パーティション付)で短時間で行っていたが現在は来社を控えて頂いておりその月の課題の資料を作成し、自宅学習するように指導できている。
ヘルパー研修は緊急事態宣言中は中止、数回は自宅研修として、テスト的な問題を出したり介護職の調理実習としてレシピを渡して、自宅で作り試食してもらって感想文提出など実施しましたが、なかなか良い研修内容が見つからず今は実施できていません。
実施研修をしたいが、密になるため行うことができず、年間計画通りにできず変更が大変だった。
出来なかった。資料配布、ラインでの動画配信、4~5人での研修を行った。
密になる会議を防ぐため資料を配布して周知した。
日々の業務に追われて、そこまで手が回っていない。
計画どおり出来ず、テキストを配布している。
一回の研修を2~3人の少人数で行ったり、郵送で研修内容を送り、テスト方式を取り返送してもらった。
通常の集まった研修はできませんでしたが、ペーパーによる研修を行いました。
少人数(2~3人)で出来るように回数を増やして行った。
ヘルパーを招集できない。
大人数の為実施は出来ず、書面での配布や業務の間での指導を行う。
各ヘルパーさんに、テーマにそった冊子を作って読んで感想を書いてもらっています。
オンラインに変更。
文書にての通知に変更等にした。
あまりできていない。
自粛期間は開催できず個別学習にて対応した。解除時は開催するも感染が気になり出席率は低下した。
事務所に来た時に、個別に対応。

集まった研修は中止 レポートの提出を実施 今後はリモートなどを検討。
対面や集まった研修を避け、レポート提出主体になっている。
日程通りにできている。
ほぼ計画どおりに行えたが、今期は特に感染症対策について実施した。
ほぼ実施出来ず(形だけの研修では意味をなさない)。
3密を避ける為集まった研修は行えていない。
緊急事態宣言中は資料配布のみで、読んでいるか不明。
ヘルパー研修は、各自サービスに入っている時間帯がバラバラなので数人が集まって開催するのが難しく、夕方は家庭優先なので会議開催費用を出しても参加が難しく一人ずつの研修になるので、担当が大変な状況。
毎月実施。
集まりを控えた為、伝達講習で対応した。
大勢では集まらず少人数で行った。
資料配布や、個別にて対応。
参加人数を制限し、伝達研修という形に切り替えたりして対応した。
密を避けるために、資料配布に変更しています。
集まった研修という形では行わず、定例会のお知らせで文書により研修項目を伝えた。
日中の短時間で言うようにした。
同じ内容の研修を少人数で数回に分けて行った。
密を避けるため、皆が集まるのは避けていましたが、メールの活用。電話連絡。をコマメにしています。
密を避けるため、実施出来ず。最低限での実施。

4. 行政、枚方市訪問介護事業者会へのご意見について

質問39.新型コロナウイルス感染症において枚方市へのご意見等があればお聞かせください。
(13 件の回答)

施設等の職員に対しては、PCR検査等無料で行うようですが、訪問もリスクは同じであることから、同様な対応をしてもらいたい。ワクチンについても早く打つことができるよう対策をとってほしい。
訪問介護における感染症の有無、その対策についての情報提供を行っていただきたい。利用者の安心のために、訪問介護事業所のヘルパー全員に抗体検査の実施をしていただきたい。
出来れば利用者へのマスクの着用の促し。対応が難しい場合は、ケアに入れないこともある旨を市から利用者へ伝えてほしい。
マスク、手袋以外の感染症対策の備品を支給してほしい。
コロナ感染者が出たら、濃厚接触疑い者は、すぐに無償で検査を受けさせてほしい。
マスク、手袋、消毒液の配布があり助かりました。
感染者が出ても代替りのスタッフがいない。
PCR検査の拡充。2週間に1回くらい定期的にしてもらいたい。
ラインで枚方市の感染状況を毎日教えて頂けるので、人数が増えたりしたら緊張感をもって利用者さんと接することが出来る。
政策は具体的に出してほしい。
現場では、ピリピリしているので介護業界の賃金をあげて欲しいです。失業者が多いのに人員不足なのは低所得のイメージが根強いからだと思います。
枚方市の感染状況は新聞で知る位なので、もう少しタイムリーにFAX等で知らせたい。

質問40.新型コロナウイルス感染症において**大阪府**へのご意見等があればお聞かせください。
(7件の回答)

大阪府独自の感染症対策補助金の創設。
訪問介護員も予防接種を早くできる様にしてほしい
感染者が出てても代替りのスタッフがいない。
カッパを集めたりうがい薬の宣伝をしたりせず、まじめに対策してほしい。
今回のコロナ支援金は大変助かりました。マスク等消耗品なので次年度の予算でも支援金があると感染予防になるかと思えます。
現場ではピリピリしているので介護業界の賃金をあげて欲しいです。 失業者が多いのに人員不足なのは低所得のイメージが根強いからだと思えます。

質問41.新型コロナウイルス感染症において**厚生労働省**へのご意見等があればお聞かせ
ください。(12件の回答)

訪問介護の感染予防のために、補助金の継続。 職員確保のため、単価の引き上げ。 安心のため、訪問介護員のワクチン接種の順位を引き上げ。
感染者が出てても代替りのスタッフがいない。
慰労金等の手当は大変助かる。今後ともお願いしたい。
訪問介護員も予防接種を早くできる様にしてほしい
最初の緊急事態宣言の時よりはるかに感染が広がっているのに、対策が緩やかなのは一体どういうことなのか。
コロナ感染で大変な1年だったと思えます。出口が見つからず、解決方法もない中でのお仕事でお疲れさまです。私たちが出来ることは、感染させない、感染しないを常に念頭に置き日常生活を送りながら仕事させて頂きます。高齢者の方たちが早くワクチン接種ができることを希望します。
新型コロナワクチン接種の迅速な拡大と安全性の両立。
現場ではピリピリしているので介護業界の賃金をあげて欲しいです。失業者が多いのに人員不足なのは低所得のイメージが根強いからだと思えます。
施設と訪問介護での対応の違いは分かるが、もう少し訪問介護に対しても真剣に従業者を守るために考えて頂きたい。
コロナが発症した施設職員に対し、慰労金は昨年はあったのですが今年は検討しないのでしょうか。
昨年安倍のマスクが何度も送られて来ましたが、10枚15枚と1日に2回送られて来たり、手間と送料の無駄を感じました。

質問42 枚方市訪問介護事業者会へのご意見等があればお聞かせください。(7件の回答)

いつもありがとうございます。
色々教えて頂きたいのですが、会合はまだ行けません。
オンラインでの研修や楽集会を充実させてほしい。そうすれば移動時間を取らずに日程調整できるので助かります。
枚方市にお住いの高齢者がより良い生活を送るためにヘルパーは必要不可欠。そのために動く事業者(会)に枚方市はにしっかりと耳を傾けて意見等を聞いてはどうか。
コロナ感染予防に対してアイデアや工夫があれば情報お願いいたします。
現場では、ピリピリしているので介護業界の賃金をあげて欲しいです。失業者が多いのに人員不足なのは低所得のイメージが根強いからだと思います。
いつも色々取り組んでいただき、ありがとうございます。

考察

新型コロナウイルス感染症における感染拡大から約1年が経過をしました。この1年を振り返り、訪問介護事業所においてどのような対策が講じられ、何に苦慮しているのかを明らかにするとともに、皆様からの声を行政にも上げ、利用者に質の高い訪問介護サービスの提供を行っていただけたようにとの思いから、この報告書をまとめることとしました。

物品においては、一時高騰し安易に入手しにくい物もあったものの、昨年行ったアンケート調査(2020年5月実施)と比較し、現在はほぼ全事業所において消毒液や使い捨て手袋を最低限は所内に準備をし、活用していることが伺えます。

また、感染防護に関する知識も広くいきわたり、物品の市場価格の落ち着きや緊急包括支援事業の補助金等によりある程度の品数や種類の確保ができていく様子が見えます。

利用者に対しても、マスク着用や手洗い(消毒を含む)の依頼を行い、事業所と利用者が一体となり感染予防対策を行っている事も見えてきました。

ただ一方では、ヘルパーの体調不良時の交代や、濃厚接触者になった場合の代替など、すでに人員不足で困っていたところに更なる困難がもたらされ、対応に窮している事業所も見受けられます。また、長期にわたる感染予防の緊張感の中、ケアを続けていることに対して心労を感じる人が増えているとの報告があがっています。

その他「再び慰労金の検討をしてほしい」、「失業者がいるはずなのに介護職への応募がないこと」などについての根本的な処遇改善を求める意見も多く寄せられています。

このような状況の中において、当会としては、事業所運営の一助となれるような活動がより一層求められることが見えてきました。